



平楽の丘だより

横浜市立平楽中学校

【4月号】

学校 HPアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/heiraku/>

はじまりの一步を、大切に

校長 山崎 悦宏

春の訪れとともに、平楽中学校にも新しい風が吹いています。新しい学年、新しい仲間、新しい出会い。それぞれが期待とともに、少しの不安を抱えながら、この4月を迎えていることと思います。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。中学校生活は、新しいことの連続です。学習や部活動、人間関係など、これまでとは違う環境に戸惑うこともあるかもしれません。しかし、焦る必要はありません。一日一日を大切に過ごす中で、少しずつ学校生活に慣れ、自分の居場所を見つけていってください。困ったときには、遠慮せず周りの人を頼ってください。みなさんの周りには、支えてくれる先輩や先生がいます。

2年生のみなさんは、後輩を迎える立場となりました。昨年度、先輩たちから受け取ったやさしさや思いやりを、今度は自分たちが後輩へとつないでいく番です。あいさつをすること、困っている人に気づいて声をかけること、その一つひとつの行動が、新入生にとって大きな安心につながります。

3年生のみなさんは、学校の中心となる学年です。これまでの経験を生かしながら、自分たちの姿で学校をつくっていく一年になります。日々の言葉や行動が、後輩たちにとっての手本となり、学校の雰囲気をつくっていきます。

新しい年度の始まりにあたり、大切にしてほしいことがあります。それは、あたたかい言葉遣いと心遣いです。

何気ない一言が、誰かの日を明るくすることがあります。

「おはよう」「ありがとう」「大丈夫？」

こうした言葉が自然に交わされる学校は、誰にとっても安心できる場所になります。相手の気持ちを少し想像して言葉を選ぶこと、その積み重ねが、平楽中学校のあたたかさをつくっていきます。

保護者の皆さま、そして地域の皆さまにおかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。新しい環境の中で、生徒たちは期待と同時に不安も感じやすい時期です。学校では、生徒一人ひとりの様子に丁寧に目を向け、安心して学校生活を送ることができるよう努めてまいります。

また、学校は家庭や地域とのつながりの中で成り立っています。生徒の成長は、学校だけでなく、ご家庭や地域の見守りと支えがあってこそ育まれるものです。引き続き、温かく見守っていただくとともに、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

4月は、誰にとっても新しいスタートです。うまくいかないことがあっても、あせる必要はありません。一歩ずつ、自分のペースで進んでいけば大丈夫です。

この一年が、生徒のみなさん一人ひとりにとって、安心して過ごせる日々であり、成長を実感できる日々となることを、心から願っています。

「学び・豊かに・健やかに」 & 「平^魂楽=やるときはやる」